

島根県の予算

予算の3本柱

- 1.「総合戦略」に基づく地方創生・人口減少対策 714億円
- 2.安全安心な県土づくり..... 350億円
- 3.生活を支える公共サービスの充実 136億円

〔総合戦略を進めるための予算の特徴〕

(1)産業振興

「神々」や「ご縁」、世界遺産石見銀山、隠岐ユネスコ世界ジオパークなど島根らしさを活用した観光誘客を推進します。

ものづくり産業の競争力強化のため、企業の技術力の強化、新分野への進出、人材育成などを支援します。



世界遺産登録10周年を迎える石見銀山(大森の町並み)

【主な事業】

○ 観光の振興	14.0億円	石見銀山世界遺産登録10周年にあわせた誘客対策 他
○ ものづくり産業の振興	4.8億円	技術開発や生産性向上を支援
○ ソフト系IT産業の振興	4.7億円	IT産業の育成・人材確保、企業誘致
○ 中小企業の振興	2.7億円	事業承継への支援、地域産業資源の活用
○ 企業立地の推進	23.7億円	企業立地助成制度
○ 農林水産業の振興	12.2億円	集落営農体制の強化、水田農業の推進 他

(2)子育て支援

保育人材の確保のため、保育士の処遇を改善します。

第1子、第2子の保育料の軽減や病児保育の支援など、子育てのためのサービスを充実します。



社内に新設されたキッズルーム

【主な事業】

○ 子育てのためのサービスの充実	13.9億円	保育士の確保・定着支援、放課後児童クラブの充実 他
○ 結婚出産のためのサポートの充実	3.3億円	結婚対策の強化、不妊治療の支援
○ 仕事と子育ての両立支援	1.9億円	産休・育休からの復職支援
○ 女性の活躍推進	0.4億円	働く女性の活躍を推進

(3)中山間地域・離島対策

安心して住み続けることが出来るよう「小さな拠点づくり」を推進します。

隠岐航路運賃の低廉化など、隠岐地域への支援を充実します。



隠岐航路のフェリー(右)と超高速船

【主な事業】

○ 小さな拠点づくりの推進	3.7億円	住民主体での地域運営の仕組みづくりを支援
○ 特定有人国境離島地域の地域社会維持対策	4.6億円	隠岐航路運賃の引き下げ 他

〔財政健全化の取組み(H19~H29)〕

島根県の財政は、毎年度200億円台後半の収支不足が見込まれていたため、平成19年10月に「財政健全化基本方針」を策定し、財政健全化に取り組んできました。

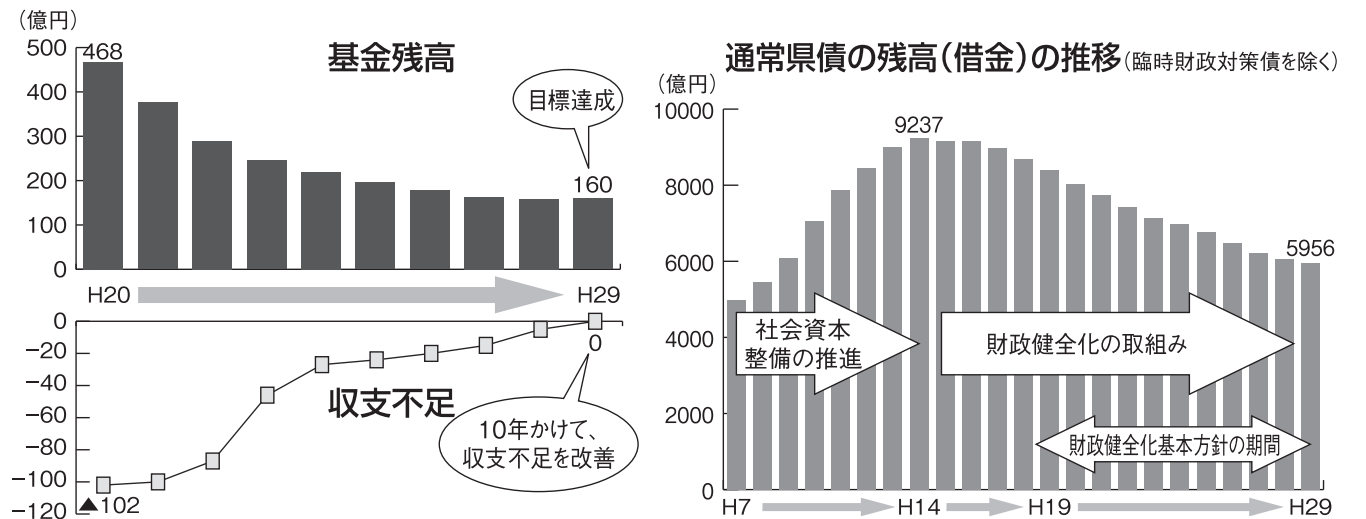
【改革の進め方】

- ①「行政の効率化・スリム化」「事務事業の見直し」「財源の確保」の取り組みにより収支不足を縮小する。
- ② 県民生活に急激な影響が出ないよう、県の貯金にあたる財政調整のための基金を計画的に取り崩しながら、10年をかけて改革を進める。

【基本方針の目標】

平成29年度に財政調整のための基金を130億円程度確保しつつ、職員給与の特例減額などの特例措置なしで収支均衡を達成する。

基本方針に基づいて改革に取り組んできた結果、平成29年度で財政調整基金を160億円程度確保した上で目標を達成できる見込みです。



目標を達成する見込みとはなりませんが、今後の経済動向などによって県財政に大きな影響を受ける可能性もあるため、引き続き「行政の効率化」「事務事業の見直し」など、行財政改革に取り組み、県財政の安定に努めます。